

市事務事業の外部評価結果

～市外部評価委員会～

学識経験者と市民公募者で構成する市外部評価委員会（委員 8 人）は、本市が相馬市総合計画「マスタープラン 2017」に基づき、令和 4 年度の重点施策実行計画として定めた 55 施策の中から、19 の事務事業を選定して評価を行い、令和 4 年 12 月 16 日、市長に評価結果を報告しました。

評価に当たっては、全 6 回の委員会を開催し、担当課へのヒアリングや現地視察などを行い、各事務事業の取り組み状況の検証を行いました。

市では、この評価結果を今後の事務事業の改革・改善に反映していきます。



【総評】

▽相馬市に住んでいるあらゆる人の要望や、それぞれの地域の課題はますます多様化し複雑化してきています。各世代やいろいろな立場の市民から幅広く意見を聴取し、柔軟な発想と対応により質の高い行政サービスを提供できる体制を構築するよう努め、その職責を担う市職員の資質向上のための人材育成にも力を入れてください。

▽少子化問題や、コロナ禍による経済不安が顕在化している昨今、安心して子育てができる環境づくりは、子を持つ親の社会進出を後押しし、相馬市が活性化するための最重要課題の一つです。地域社会や民間の取り組みにも細心の注意を払い、また、経験豊かな高齢者と子どもたちの交流の場を拡充するなど、自治体と市民の力を集めるよう努力して、次世代を担う子どもたちの心身のサポートや豊かな心の育成に取り組んでください。

▽相馬の長い歴史が培ってきた伝統文化、自然環境、遺構、そしてこれまでに整備してきた文化・スポーツ施設は、私たち市民の大切な共有財産です。これらの財産をまちづくりに活かして、市民が歴史・文化に触れ心豊かな生活を営むことができ、交流人口の拡大にも活かせるように、文化財の管理保存および公開と、既存施設の幅広い活用に努めてください。

▽行政のデジタル化は避けられない現実となっています。行政のデジタル化により、市民への行政サービスの向上が図れるなどのメリットを、市民に分かりやすく説明して意識の共有を図り、市民目線で利用しやすい便利な行政サービスを構築できるような取り組みを推進してください。推進に当たっては、取り残される市民が生まれないよう丁寧な対応をお願いします。

【評価結果】

▽19 の事務事業について「A」「B」「C」「D」の 4 段階評価を行った結果は、右の表のとおりです。

▽評価点数は、8 人の委員が事務事業ごとに事業の妥当性や効率性などを 5 点満点で評価したものの平均です。

評価	事業数
A= 必要かつ有効であり推進することが妥当	14
B= 改善を図りながら継続することが妥当	5
C= 一部修正・再検討が必要	0
D= 見直し・休止・廃止について検討が必要	0
合計	19

●事務事業ごとの評価

No.	事務事業名	点数	評価	コメント
1	防災備蓄倉庫の復旧と備蓄食料等の確保（令和 4 年 3 月 16 日地震災害からの復旧）	4.3	A	防災備蓄倉庫は、災害に備え常に使用できる状態にしておく必要があります。施設の重要性を鑑み、迅速な復旧がなされるよう努めてください。また、備蓄品の基本数量の確実な確保と充実、そして市民各自の備えに対する啓発もお願いします。併せて、停電時における市民のための携帯電話などの充電エリアの確保についての検討を望みます。
2	区長会等の意見集約（参画と協働を推進する仕組みづくり）	3.6	B	地域コミュニティは、区長の高齢化や固定化、担い手不足などの課題を抱えており、地域の課題がますます多様化・複雑化する中、その在り方を見直す必要があると思われます。区長会から集約した意見や多様な意見を聴取できる手段を検討してください。また、行政区への加入率向上の取り組みや、将来を見据えた地域コミュニティの組織体制の見直しについても検討をお願いします。
3	行政のデジタル化の推進（適正な業務執行体制の確立）	4.0	A	社会全体がデジタル化する中、行政のデジタル化は避けては通れません。事業を速やかに推進し、市民の利便性向上に繋げてください。事業推進に当たっては、市民目線で利用者が利用しやすいものとなるよう心がけ、取り残される市民が生まれないような配慮をお願いします。また、継続的改善を図り完成度を高め、市民満足度の向上を目指してください。
4	マイナンバーカードの普及促進（適正な業務執行体制の確立）	3.5	B	マイナンバーカードの普及が進むことにより、何が良くなるのかが市民にとって分かりにくいことが、普及を妨げている要因の一つと考えられます。誰にでも理解できるよう分かりやすく市民に広報し、今後活用される分野が増えていくにつれ、問い合わせの増加も予想されますので、丁寧な対応をお願いします。

No.	事務事業名	点数	評価	コメント
5	市職員の資質向上（人材の育成）	4.0	A	質の高い行政サービスを提供していく上で、人材育成は最重要課題の一つであります。人事評価制度を適切に運用し、人材育成に資するものとしてください。そのために、公平公正な評価ができるよう評価者のスキルアップに努めてください。また、期首・期末だけでなく、期中にも面談を実施し、目標達成に向けた進捗よく確認や適切なアドバイスを行ってください。併せて、知識修得のための研修を充実させ、市民サービスの向上に努めてください。
6	【現地視察】雨水排水対策（震災・水防対策の整備）	4.3	A	近年の水害の教訓を生かした対策が進められてきていますが、想定を超える災害は常にやってくるものと考えてください。災害発生時に速やかに稼働できるよう、日ごろからの訓練・準備・整備をお願いします。一方で、運用に係る経費は大きなものになりますので、費用軽減策についての検討もしてください。
7	放課後児童クラブの充実強化（安心して子育てができる環境づくり）	4.1	A	放課後児童クラブは、子を持つ親の社会進出を実現するために重要な役割を担っています。希望者の要望に柔軟に対応できるよう環境整備をお願いします。子どもたちが安心して過ごせる場所の提供はもとより、心身の成長を促すことができる場所となることを期待します。
8	確かな学力の育成	4.2	A	ICTやプログラミング教育など、子どもたちを取り巻く環境は変化しています。「読解力」「考える力」「書く力」といった基本的な能力を高め、環境変化に適應できる子どもを育てるよう努めてください。また、学力向上のためには、教師の指導力向上が不可欠です。授業の質的改善という目標達成に向け、現状を評価するための適切な KPI を設定することを検討してください。
9	豊かな心の育成と生徒指導の充実	4.2	A	自分を見つめ他の人を想いやる気持ちを育む道徳教育は、学校での指導のみならず社会全体で共有すべき問題であり、地域の歴史文化や食べ物、職業などを通じて地域との関わりを持つ機会を増やし、郷土愛を育むことを通じて豊かな心を育成してください。メンタルヘルス分野は、専門的な知識が必要であり教師の負担も大きいことから、カウンセラーや有資格者の確保といった必要な支援を行ってください。
10	若手狩猟者の育成及び狩猟従事者への支援（安全で安心な農作物の生産と供給）	3.8	B	猟友会員の高齢化により、若手狩猟者の確保および育成が課題となっています。各種勉強会や研修会の開催だけでなく、費用面の自己負担割合を低くしたり関心を高めたりするなど、従事者を広げるための PR 活動を行ってください。併せて、若手狩猟者のニーズを分析して必要な支援を行うなどの取り組みを推進するようお願いいたします。
11	相馬港の利用促進	3.6	B	企業のニーズ調査や発掘を行い、今後予想される社会環境の変化による相馬港の利用用途の変化も踏まえた上で、中長期的な視点でどのような姿を目指すかを明確にするための議論を行い、事業を推進してください。
12	市民会館の利活用促進（芸術文化活動の促進）	4.0	A	ロビーや和室を最大限活用したり、自主事業や、多種多様なイベント・コンサートを開催したりすることも含め、催し物の増加を図り、市民が芸術文化に触れる機会を増やすように努めてください。
13	各種調査資料の展示・公開	4.0	A	専門職員を配置できない状況の中ですが、マニュアルやガイドラインを上手く活用しながら、相馬市の宝である文化財を次世代に遺すための資料の管理を行ってください。各種研修会を通じて研さんに努めてください。また、歴史資料収蔵館の収蔵物を市民に広く紹介するためデジタルアーカイブの更新と鮮明な画像の提供をお願いします。
14	スポーツ施設の維持管理と利活用の促進	4.3	A	交流人口拡大のために、各種大会や合宿の誘致・PRについて、商工観光課や宿泊施設との連携強化に努めてください。また、市民向けの利用案内の促進や、スポーツ教室の開催・紹介、スポーツ大会などへの支援などを通じて、より多くの市民がスポーツ活動に親しめるよう取り組んでください。
15	ごみの減量化、再資源化	4.4	A	SDGs の観点から、ごみの減量、分別、そして再資源化は重要な問題です。食品ロス問題とも併せて、子どもから大人まで市民一人一人が意識を持って取り組むべき課題であります。市民と一体となった取り組みとなるよう、意識向上のための啓発活動を引き続きお願いします。
16	ホールボディカウンターによる内部被ばく検査（外部被ばく線量検査、内部被ばく検査の継続）	4.2	A	東日本大震災より十年以上が経過し、市民の関心が低下しているかと思われませんが、市民の安心の担保と健康管理のため、事業の継続をお願いします。検査結果は将来的に貴重なデータとなるため、より多くの人に受診していただき、継続的な管理に努めてください。
17	高齢者を対象とした介護職員初任者研修の推進（高齢者のいきがいづくりの推進（高齢者が活躍できる機会の創出））	3.9	B	高齢化社会の問題として挙げられる家族の介護への備えとしても有意義な事業です。高齢者の社会参画を促すために、幅広い機会の提供に努めてください。高齢者は交通手段を持っていない方も多く、研修参加の妨げになっている可能性があります。現状把握と対策をお願いします。
18	特定健康診査事業（保健事業の推進）	4.1	A	市民の健康維持や医療費削減のため、自分の健康は自分で守るという啓発活動を推し進め、未受診者の理由の分析・対策をするなど、受診率向上に努めてください。特に、女性に比べて低くなっている男性の受診率を上げるための取り組みを推進してください。
19	骨太けんこう体操の普及啓発による介護予防事業の推進（適切な介護サービスの提供）	4.1	A	骨太けんこう体操が介護予防の効果があることの検証と PR を行い、参加者を増やすよう努めてください。今後増加する高齢者の介護予防のため、体操のバリエーションを増やすことや、認知症予防のための脳トレの導入などを検討してください。

外部評価委員からひとこと

◆梶田浩二委員長

今回は新委員を3人迎え、より新たな視点からヒアリングと現地視察を繰り返し行い、A評価14、B評価5の結果を報告しました。

本年度も新型コロナウイルス感染症対策に翻弄（ほんろう）される中、各々の事務事業に対する担当課の職員の方々の真摯（しんし）な対応や考え方は高く評価されるべきものであり、われわれ市民の側もより多くの事業に積極的に参画し、共通の意識を持って事業執行を見守る必要があるものと考えます。

今回も詳細な資料提供をしていただいた担当課職員の方々に深く感謝申し上げます。

◆高橋勲委員

市民生活の向上のため、市は幅広い分野で、さまざまな施策を実施していることが分かりました。また、市民・民間企業が積極的にまちづくりに参画していくことも不可欠だと感じました。引き続き、子どもから大人まで希望に満ちた相馬のため、市民目線に立った行政サービスの提供をお願いいたします。

◆伊東千恵子委員

「災害は忘れたころにやって来る」とのことわざがありますが、一昨年と昨年3月にも続けて大地震に見舞われた相馬市、一昨年の修理も終えないまま、また多くの世帯が被災を受け家屋を修理中です。1日も早い復旧を願い心よりお見舞い申し上げます。

市職員の皆さまには、評価された事業内容を精査し、市民の皆さまが安心して心豊かに生活できるように事業を進めてくださるようお願いいたします。

◆小幡広宣委員

今年度から外部評価委員に任命され、窓口の外からは見られない職員の方々の業務内容と、それに熱心に取り組む姿を拝見させていただきました。一方で、行政と民間の発想・感覚の違いを感じた場面も幾度かありました。市長はじめ市職員の方々の高い行政運営能力を最大限に発揮してもらうためにも、来期も引き続きしっかりとその役割を果たしていきたいと思います。

◆田北圭一委員

私は今回初めて外部評価に参加させていただきましたが、市が現状どのような問題を抱えており、どのような取り組みがなされているかを知ることができ、有意義でした。いずれの事業も難題を抱えているものの、担当されている皆さんの真摯な取り組みにより着実に前に進んでいることを感じました。引き続き豊かな相馬市を目指してがんばってください。

◆高田美奈委員

私たち市民が住み良い生活が送れるよう、市は広報紙やSNSなどを通し情報発信していることで、イベントに参加してみようかな、交通安全に気をつけよう、ごみの分別再確認など、私たちは多種多様な情報を得ることができ、また、参加・啓発・協力している市民が増えている事と思います。これからも市民の声を政策に生かし、共に協力し、さらに住み良い市になるよう期待しています。

◆荒孝夫委員

コロナ・地震・水害と多難な中で停滞することなく遂行された19事業について評価を行いました。過去に評価の対象となった事業もありましたが、全体的に改善が見られたことは評価する側としてうれしく思います。ヒアリング時には厳しい意見もありましたが、それらを今後どのように生かしていくかが課題として残っていると思います。以前にも述べましたが、「相馬らしさ」を創生することがますます必要になってくるのではないのでしょうか。この外部評価がその一助となることを願っております。

事務局と評価対象となった課の事前準備の労苦に感謝いたします。

◆木幡洋平委員

「自助」と「共助」と「公助」。外部評価委員会ではたびたび出てきた言葉で、防災危機管理上大変重要なポイントです。自然災害が毎年連続して発生している相馬市にとって、今後いかに地域のコミュニティがまとまり、災害弱者を作らない環境をどのように整備していくのか。

今回委員になり、相馬市が抱えている問題や、将来に向けての構想をもとに評価いたしました。相馬市が抱えている問題や課題を共に解決できるよう、われわれ市民一人一人が市政に参画し、日々心掛けて行動することが、今後いかに大切かということを変えて考えさせられました。